



GKP（下水道広報プラットフォーム） のステップアップ ～「下水道展'14大阪」が試金石～



下水道広報プラットフォーム 企画運営委員
国土交通省水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 課長補佐

茨木 誠

1 GKP（下水道広報プラットフォーム）とは

GKPが平成24年6月に発足してから、早1年半が経ちました。平成25年11月7日現在で、個人会員540人、団体会員31団体にのぼり、GKPの環も下水道内外に広がっています。

下水道は暮らしや社会経済を支えている私たち国民の共有財産です。今後下水道事業が、建設中心の時代から本格的な管理運営の時代を迎えるにあたり、この財産を未来へ引き継ぎ活かしていくためには、利用者であり、その財源の負担者でもある国民一人ひとりの皆様に下水道の理解を深めてもらう必要があります。また、これからのわが国を担う、子供や若者に、下水道の魅力、可能性に共感してもらい、夢を持って下水道界に入ってきていただくためにも、下水道の広報は今後の下水道の持続可能性を追求する上で最も重要な施策の一つです。

GKP（下水道広報プラットフォーム）は、このような認識の下、下水道界をはじめさまざまな人々が交流する場として、情報共有や広報活動を通し、下水道の真の価値を伝えるとともに、これからの下水道をみんなで考えていく全国ネットワークの構築を目指して設立され、活発に活動しています。

2 これまでの取組み成果 ～4倍に増えた子供の来場者～

GKPでは、企画運営委員会での戦略を練りながらも、実行あるのみ！という勢いで、これまでさまざまな企画を実施してきました。例えば、下水道内外の幅広い分野から識者をお招きするイベント「わいがやトーク」は10回を数えました（写真-1）。また、全国の若手下水道職員が、毎回特定テーマについて議論し発表することで切磋琢磨していく「下水道場」を発足し、これまで4回開催しました（写真-2）。下水道界で働く女性間の情報交流等を図り、絆を深めることを目的とした「GJリンク」も設立されました（写真-3）。また、第1回GKP広報大賞を決定し、グランプリに輝いた金沢市企業局の下水道事業PRビデオ「わたしとトイレと女神さま」は、「国土交通大臣賞循環のみち下水道賞」とのダブル受賞となりました。

その中でも、GKPの最も大きな成果の一つは「下水道展'13東京」でのパブリックゾーンの企画であったと思います。これまで、自治体等毎にブース出展していたものを、最大の下水道ユーザーでありこれからの下水道を担う「親子」をターゲットに、「スイスイ下水道研究所」という統一的なコンセプトの下、「子供特別環境学習」、「子供下水道発表会」など親子が主体となって参加で

写真-1 わいがやトークの様子
(第8回: (株)電通・大屋氏)



写真-2 熱気あふれる下水道場の様子



写真-3 GJ (下水道女子) リンクの様子



写真-4 親子で賑わう「下水道展'13 東京」でのパブリックゾーンの様子



きるイベントや、さらには夏休みの自由研究がスイスイ解決する「自由研究コンシェルジュ」などを催しました(写真-4)。

最も効果的であったのは、集客を戦略的に進めたことです。会場となるビッグサイト周辺のすべての小学生に「子供下水道新聞」(日本水道新聞社作成)を配布し下水道展のPRをしました。さらに、下水道展出展企業社員のご家族向けにPRチラシを配布しました。

この成果は、数字となって現れました。小学生以下の来場者数は、約2,100人にのぼり、昨年、一昨年と比較し約4倍にもなりました。これも、GKPの枠組みの中で、下水道協会を中心に、自治体、大学、JS、企業、国等が連携して戦略を練った大きな成果と考えています。

3 GKPの次のステップ ～活動範囲の拡大～

GKPは精力的な活動を行っていますが、その活動はまだ「東京中心」です。下水道界が一体となって下水道広報を展開していくためには、各地域における自律的な活動に発展させていくことが重要です。その試金石は、次の「下水道展'14 大阪」であると考えています。現在、大阪市を中心とした関西自治体、下水道協会とGKP等が連携して企画立案中です。ぜひ、「下水道展'14 大阪」を魅力あるものにし、GKPとして下水道展の進化に貢献したいと考えています。

また、民間企業を中心に「未来の下水道パーソン」発掘のため、下水道の魅力「学生」をター

ゲットに発信する取組みも開始する予定です。下水道界のリクルート力を強化し、下水道界の持続・発展につなげようという試みです。GKP という横断的なプラットフォームを活用し戦略的に進めていきたいと思っています。

4 全員参加の下水道広報を

ここでは、GKP の活動の一端をご紹介させていただきましたが、まだまだ新しい企画が日々生

まれており、引き続き活発な活動を展開していきたいと考えています。また、「下水道広報は全員参加」がGKPの基本コンセプトです。皆様自身も下水道広報の担い手として、GKPにご参加くださることを期待しています。また、各自治体などの広報にGKPの幅広い人脈や企画力を活用して頂きたいと思っています。ぜひ、一度GKPのHPをご覧ください！（GKPホームページ：<http://www.gk-p.jp/index.html>）